

令和4年8月18日

交通事故概況

令和4年7月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（7月中計上数（確定数））

1 令和4年7月中の交通事故発生状況

区分\内容	7月中		7月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	647	-62	4,710	143
死者数（人）	13	-1	56	-10
傷者数（人）	721	-97	5,493	193

[過去10年、7月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年	
												10か年		5か年
7月中死者	9	17	10	12	13	17	13	16	15	14	14	15	13	
7月末死者	91	83	86	88	75	75	75	69	69	66	78	71	56	
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—	

都道府県別（7月中）

順位	1	2	3	4
都道府県名	兵庫	北海道	東京	愛知
死者数	15	13	12	11

都道府県別（7月末）

順位	1	3	4	5	8
都道府県名	愛知	大阪	兵庫	東京	千葉
死者数	80	72	69	68	56

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 7月中の死亡事故(死者13人)

- 事故類型別：車両単独が6人(46.2%)、人対車両、正面衝突が各々3人(23.1%)
- 道路別：道道が7人(53.8%)、国道が3人(23.1%)
- 地形・道路形状別：非市街地直線が4人(30.8%)、市街地直線、非市街地カーブが各々3人(23.1%)
- 発生時間別：12～14時、14～16時、16～18時が各々3人(23.1%)
- 第一当事者年齢別：高齢運転者による死者が5人(38.5%)、30歳代、40歳代運転者による死者が各々2人(15.4%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が4人(30.8%)、最高速度が3人(23.1%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が9人(69.2%)、40歳代の死者が2人(15.4%)

(2) 7月末の死亡事故(死者56人)

- 事故類型別：
 - ・ 車両単独が20人35.7%（うち最高速度が7人35.0%、操作不適が5人25.0%）
 - ・ 人対車両が15人26.8%（うち前方不注意が6人40.0%、歩行者妨害、安全運転その他が各々3人20.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が22人39.3%（うち正面衝突9人40.9%）
 - ・ 道道が14人25.0%（うち車両単独が7人50.0%）
 - ・ 市町村道が14人25.0%（うち人対車両が7人50.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 非市街地直線が16人28.6%（うち車両単独が9人56.3%）
 - ・ 市街地直線が14人25.0%（うち人対車両が7人50.0%）
- 発生時間別：
 - ・ 14～16時が11人19.6%（うち車両単独が6人54.5%）
 - ・ 8～10時が8人14.3%（うち車両単独が4人50.0%）
 - ・ 10～12時が8人14.3%（うち正面衝突が4人50.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 高齢運転者による死者が23人41.1%（うち正面衝突が7人30.4%）
 - ・ 40歳代運転者による死者が10人17.9%（うち車両単独が5人50.0%）
- 第一当事者違反別：
 - ・ 前方不注意が19人33.9%（うち人対車両、車両単独が各々6人31.6%）
 - ・ 操作不適が9人16.1%（うち車両単独が5人55.6%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が33人58.9%（うち人対車両が12人36.4%）
 - ・ 40歳代の死者が11人19.6%（うち車両単独が6人54.5%）
- シートベルト着用者：
 - 自動車乗車中の死者26人中、シートベルト非着用者は9人(34.6%)であり、このうち7人はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

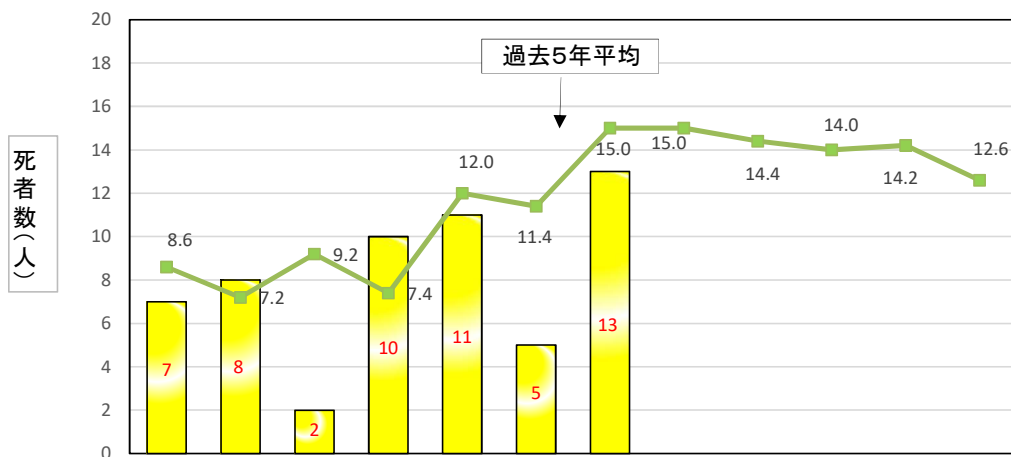
7月中の死者数は札幌方面が8人(61.5%)、旭川方面が3人(23.1%)、釧路方面が2人(15.4%)となっている。
7月末の死者数は札幌方面が33人(58.9%)、旭川方面が12人(21.4%)、釧路方面が7人(12.5%)、函館方面が3人(5.4%)、北見方面が1人(1.8%)、となっている。

7月中	方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
	全道	647	-62	13	-1	721	-97
	札幌方面	477	-52	8	1	535	-77
	函館方面	51	-5			55	-14
	旭川方面	57	-2	3	1	66	-1
	釧路方面	48		2	-2	49	-4
	北見方面	14	-3		-1	16	-1

7月末	方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
	全道	4,710	143	56	-10	5,493	193
	札幌方面	3,509	203	33	1	4,067	239
	函館方面	347	15	3	-6	412	16
	旭川方面	384	-32	12	4	477	-20
	釧路方面	345	-50	7	-6	382	-61
	北見方面	125	7	1	-3	155	19

(4) 月別発生状況の推移

7月中の死者数は13人で過去5年平均15.0人を下回っている。
7月末の死者数は56人で過去5年平均70.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	7	8	2	10	11	5	13						56
年間累計	7	15	17	27	38	43	56						
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	141.0
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	

(5) 都道府県別死者

7月中は兵庫県が15人で最も多く、次いで北海道が13人、東京都が12人で愛知県、千葉県が11人となっている。
7月末は愛知県、大阪府が80人で最も多く、兵庫県が72人、東京都が69人、千葉県が68人となっている。

区分\都道府県	兵庫	北海道	東京	愛知	千葉	大阪	埼玉	静岡	福岡	三重	全国
7月中死者数	15	13	12	11	11	10	9	8	7	7	207
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	8	9	9	-
前年比	3	-1	1	-2	2	-3	0	4	-5	4	-23
増減率(%)	25.0	-7.1	9.1	-15.4	22.2	-23.1	0.0	100.0	-41.7	133.3	-10.0

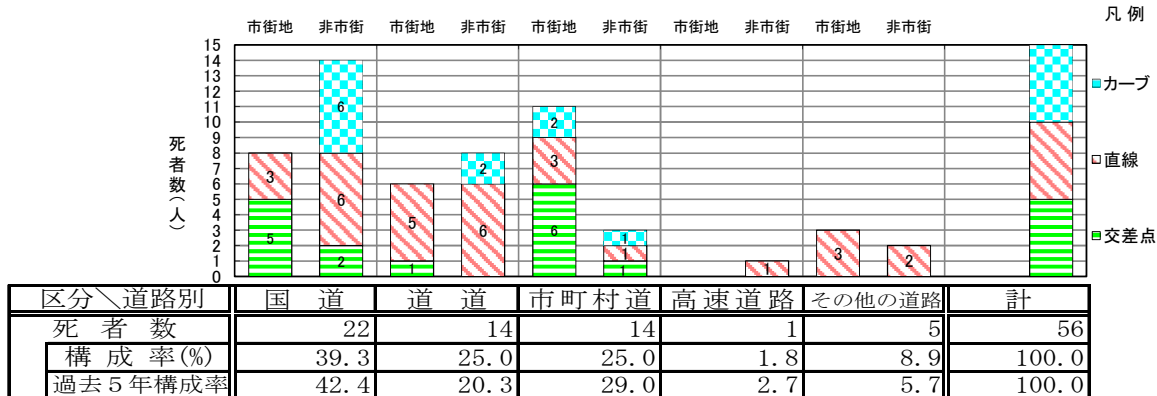
区分\都道府県	愛知	大阪	兵庫	東京	千葉	神奈川	埼玉	北海道	岡山	岐阜	全国
7月末死者数	80	80	72	69	68	64	61	56	42	38	1,365
ワースト順位	1	1	3	4	5	6	7	8	9	10	-
前年比	16	-4	11	1	0	-6	-9	-10	15	2	-63
増減率(%)	25.0	-4.8	18.0	1.5	0.0	-8.6	-12.9	-15.2	55.6	5.6	-4.4

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が22人(39.3%)で最も多く、次いで道道、市町村道が各々14人(25.0%)となっている。

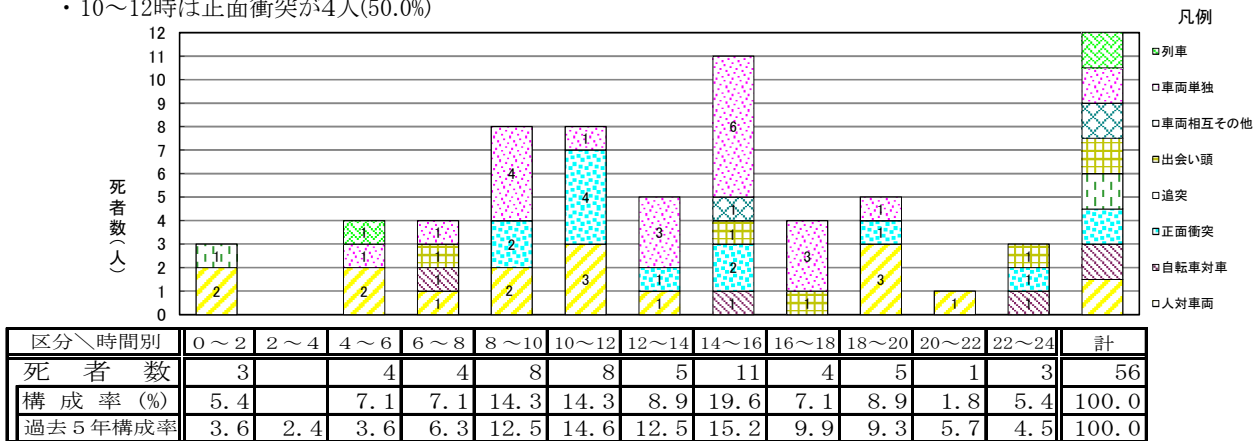
- ・ 国道は非市街地直線、非市街地カーブが各々6人(27.3%)
- ・ 道道は非市街地直線が6人(42.9%)となっている。
- ・ 市町村道は市街地交差点が6人(42.9%)となっている。



(2) 時間別

14～16時が11人(19.6%)、8～10時、10時～12時が各々8人(14.3%)となっている。

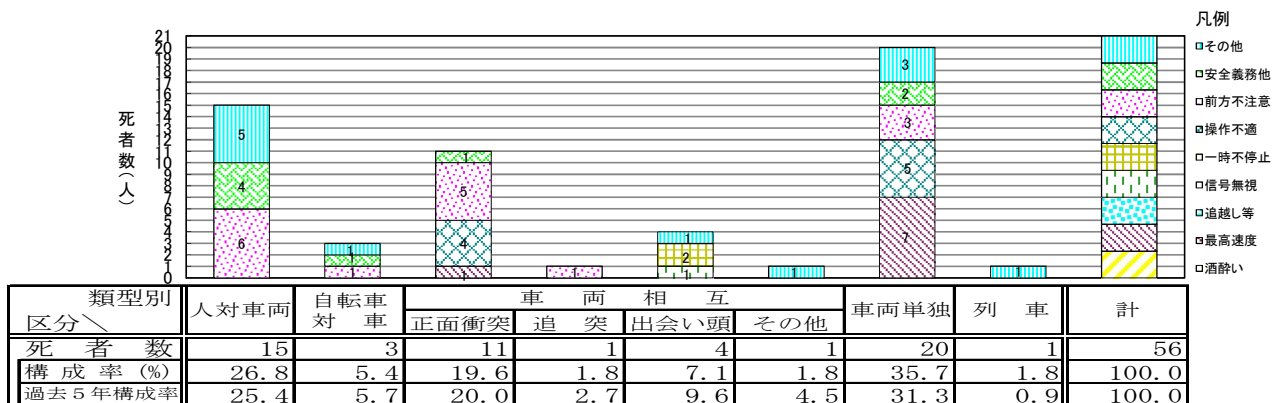
- ・ 14～16時は車両単独が6人(54.5%)
- ・ 8～10時は車両単独が4人(50.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突が4人(50.0%)



(3) 事故類型別

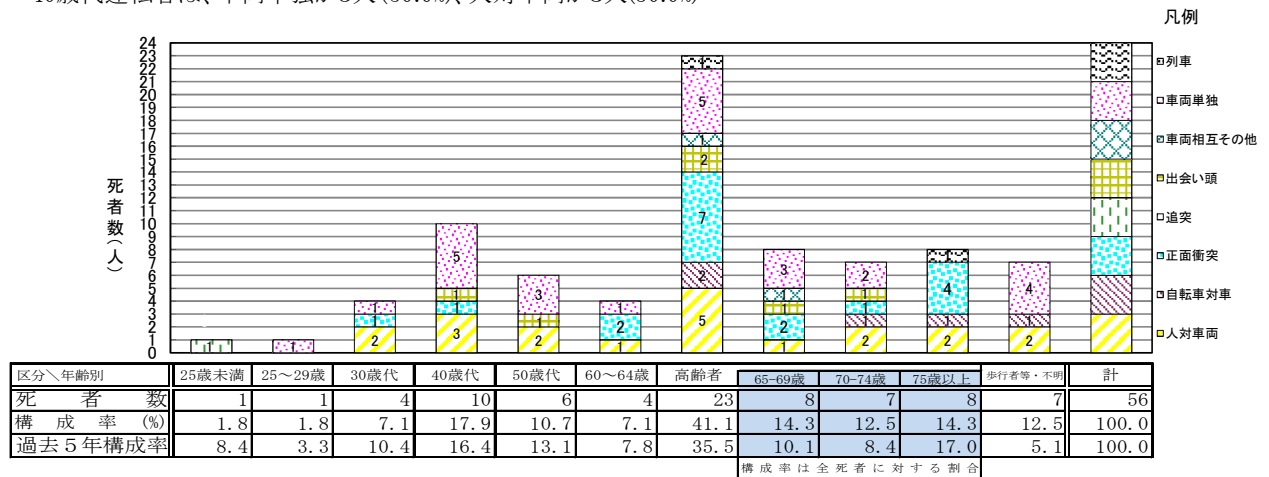
車両単独が20人(35.7%)、人対車両が15人(26.8%)となっている。

- ・ 車両単独は、最高速度が7人(35.0%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が6人(40.0%)



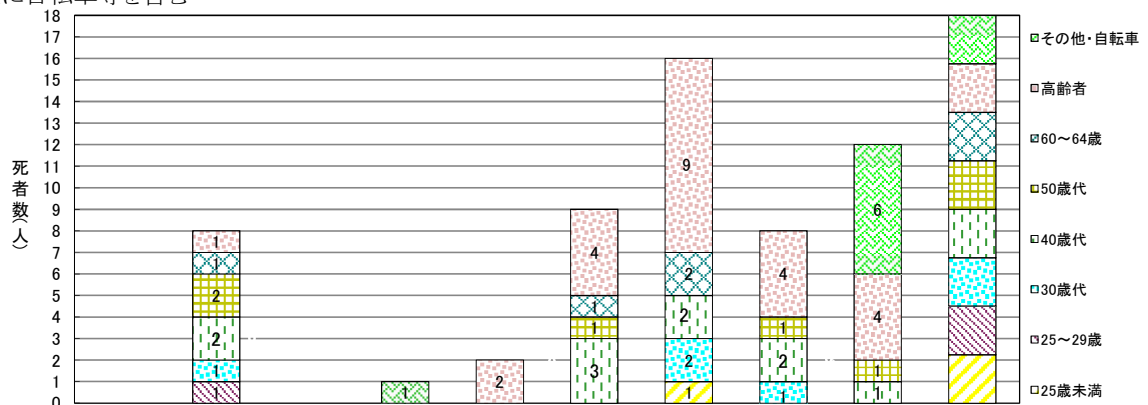
(4) 第一当事者の年齢層別

- 高齢運転者によるものが23人(41.1%)、40歳代運転者が10人(17.9%)となっている。
 ・ 高齢運転者は、正面衝突が7人(30.4%)、人対車両、車両単独が各々5人(21.7%)
 ・ 40歳代運転者は、車両単独が5人(50.0%)、人対車両が3人(30.0%)



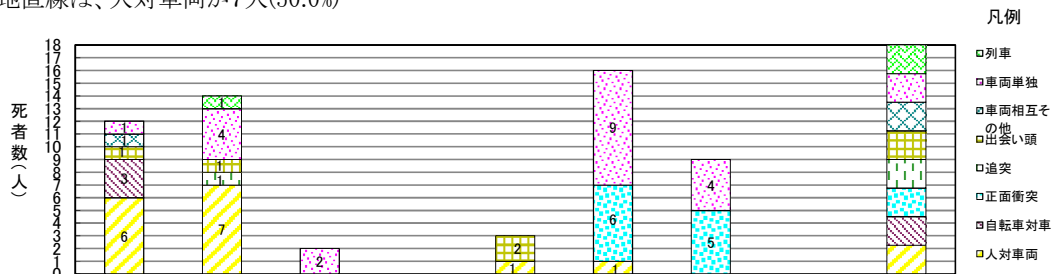
(5) 第一当事者の違反(原因)別

- 前方不注意によるものが16人(28.6%)、操作不適が9人(16.1%)
 ・ 前方不注意は、高齢運転者が9人(56.3%)
 ・ 操作不適は、高齢運転者が4人(44.4%)、40歳代運転者が3人(33.3%)
 ・ その他に自転車等を含む



(6) 地形・道路形状別

- 非市街地直線が16人(28.6%)で、市街地直線が14人(25.0%)。
 ・ 非市街地直線は、車両単独が9人(56.3%)
 ・ 市街地直線は、人対車両が7人(50.0%)

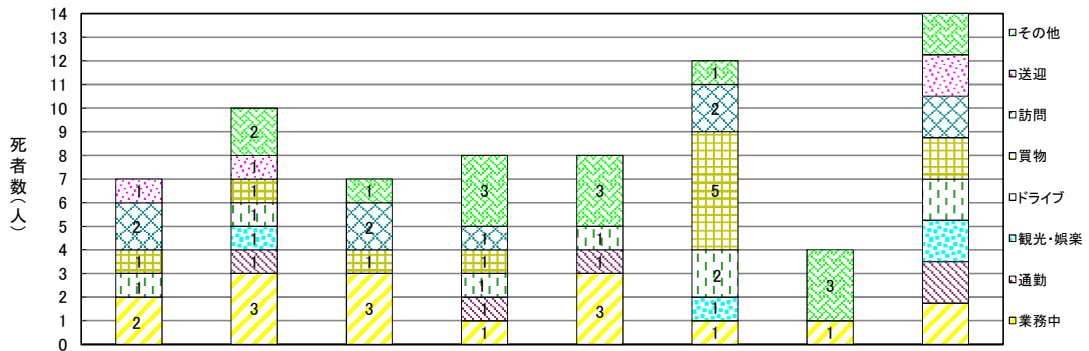


(7) 曜日別

金曜日が12人(21.4%)、月曜日が10人(17.9%)となっている。

- ・ 金曜日は買物が5人(41.7%)
- ・ 月曜日は、業務中が3人(30.0%)

凡例



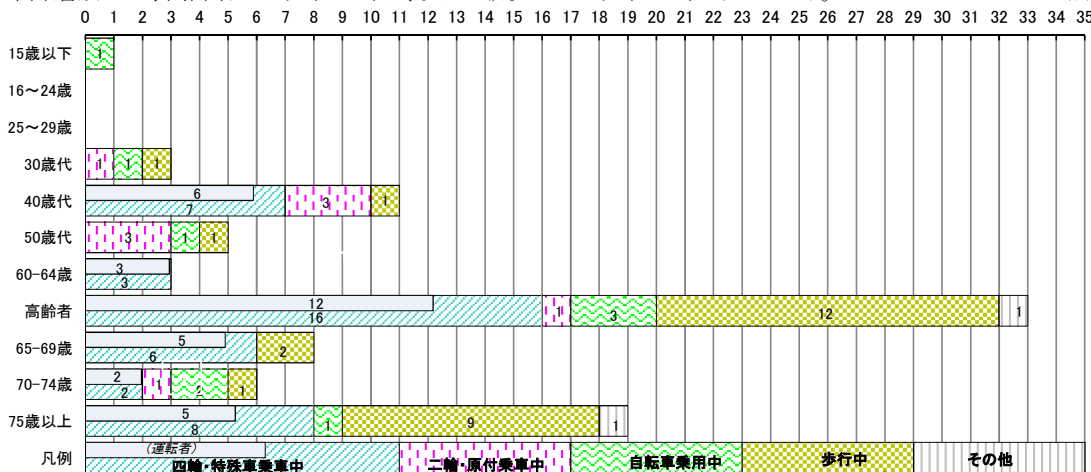
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	7	10	7	8	8	12	4	56
構成率 (%)	12.5	17.9	12.5	14.3	14.3	21.4	7.1	100.0
過去5年構成率	15.2	11.9	14.9	14.0	13.1	18.2	12.5	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が26人(46.4%)で最も多く、歩行中が15人(26.8%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢者が16人(61.5%)、40歳代が7人(26.9%)
- ・ 歩行中は高齢者が12人(80.0%)
- ・ 年齢層別では、高齢者が33人(58.9%)で、うち75歳以上が19人(57.6%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別	死者数	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (原付を含む)	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	0	0	0	1			
16~24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	6.3
25~29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	2.4
30歳代	2	0	1	1	1	0	3	5.4	6.9
40歳代	7	3	0	0	1	0	11	19.6	9.3
50歳代	3	1	0	0	1	0	5	8.9	10.1
60~64歳	3	0	0	0	0	0	3	5.4	6.0
高齢者	33	16	1	3	12	1	33	58.9	57.0
65~69歳	8	6	0	0	2	0	8	14.3	12.5
70~74歳	6	2	1	2	1	0	6	10.7	9.9
75歳以上	19	8	0	1	9	1	19	33.9	34.6
計	死者数	26	8	6	15	1	56	100.0	—
	構成率	46.4	14.3	10.7	26.8	1.8	100.0	—	—
	過去5年構成率	54.0	12.2	6.6	26.3	0.9	100.0	—	—

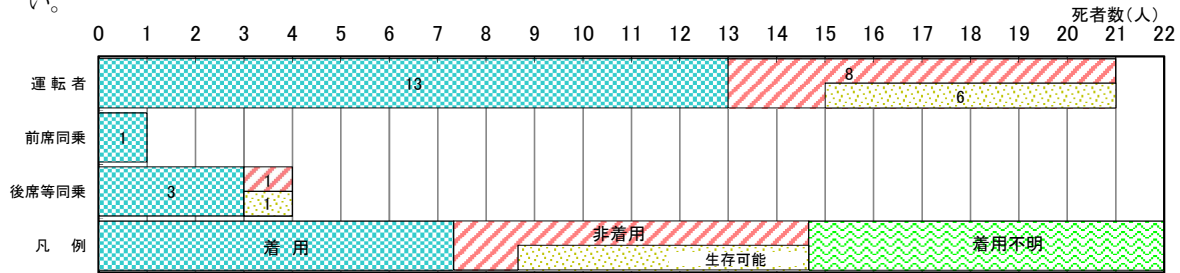
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者26人中、シートベルト非着用者は9人(34.6%)となっている。

非着用者7人(運転席は6人)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明		
		計	運転者	同乗者(助手席/後部席)	計	運転者(生存可)	同乗者(助手席/後部席)(生存可)			
令和4年	26	17	13	1	3	9	8	6	1	1
構成率(%)	100.0	65.4	76.5	5.9	17.6	34.6	88.9	75.0	11.1	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者9人を年齢層別にみると、40歳代が5人(55.6%)、高齢者が3人(33.3%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルム着用				2		2	13	4	2	7		17
構成率(%)				11.8		11.8	76.5	23.5	11.8	41.2		100.0
ヘルム非着用				5		1	3	2		1		9
構成率(%)				55.6		11.1	33.3	22.2		11.1		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者9人の人身損傷加害部位をみると、車外放出、車内他、その他が各々2人、車外他、ハンドル、座席が各々1人となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ヘルム着用	1		3					2	3	5		14
構成率(%)	7.1		21.4					14.3	21.4	35.7		100.0
ヘルム非着用	2	1	1						1	2	2	9
構成率(%)	22.2	11.1	11.1						11.1	22.2	22.2	100.0
運転者	2	1	1						1	2	1	8
構成率(%)	22.2	11.1	11.1						11.1	22.2	11.1	88.9
同乗者											1	1
構成率(%)											11.1	11.1

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。